

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	
教科書	「C言語とアルゴリズム演習」 鑑山徹著（工学図書）
補助教材等	「C言語によるコンピュータ入門」 豊田等（朝倉書店）
学習上の留意点	
分かりやすく説明しますので授業をしっかりと聞いて教科書を十分に読み込んでください。各実習は確実に手を動かしてプログラムを作成してください。プログラムは習うより慣れろといいます。できるだけ多くのプログラムを作るよう心がけてください。	
担当教員からのメッセージ	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	リテラシーに関する実習	関連ソフト (terapad、cygwin) を使用することができる。	第1回目の内容を復習して、次回の予習をする。
2	簡単なプログラム1（連接構造）	整数および実数データの入出力のプログラムについて説明できる。	第2回目の内容を復習して、次回の予習をする。
3	簡単なプログラム1の実習	整数および実数データの入出力のプログラムを作成できる。	第3回目の内容を復習して、次回の予習をする。
4	簡単なプログラム2（連接構造）	四則演算および初步的な演算の仕組みのプログラムについて説明できる。	第4回目の内容を復習して、次回の予習をする。
5	簡単なプログラム2の実習	四則演算および初步的な演算の仕組みのプログラムを作成できる。	第5回目の内容を復習して、次回の予習をする。
6	選択構造1	2数の最大を求めるプログラム、奇偶判定のプログラムを理解し、2分岐構造について説明できる。	第6回目の内容を復習して、次回の予習をする。
7	選択構造1の実習	2分岐構造を用いたプログラムを作成できる。	第7回目の内容を復習して、今までのまとめをする。次回の予習をする。
8	中間試験		
9	試験問題解説と選択構造2	中間試験で間違った箇所を理解し、すべて解くことができる。 成績判定プログラム、二次方程式解法のプログラムを理解し、多分岐構造を説明できる。	第9回目の内容を復習して、次回の予習をする。
10	選択構造2の実習	多分岐構造を用いたプログラムを作成できる。 文字型データについて説明できる。	第10回目の内容を復習して、次回の予習をする。
11	反復構造1	前の処理が後の処理に影響を与えない場合の反復処理プログラムについて説明できる。	第11回目の内容を復習して、次回の予習をする。
12	反復構造1の実習	反復処理プログラムの繰り返し回数指定と繰り返し回数未定の場合についてのプログラムを作成できる。	第12回目の内容を復習して、次回の予習をする。
13	反復構造2	前の処理が後の処理に影響を与える場合の反復処理プログラムについて説明できる。	第13回目の内容を復習して、次回の予習をする。
14	反復構造2の実習と課題問題	前の処理が後の処理に影響を与える場合の反復処理プログラムを作成できる。	第14回目の内容を復習して、次回の予習をする。
期末試験			
15	試験問題解説、および、授業評価アンケートをおこなう。	期末試験で間違った箇所を理解し、すべて解くことができる。	
総授業時間数			30時間